

令和4年度第2回庄内地域保健医療協議会（庄内地域医療構想調整会議）
議 事 概 要

日時：令和5年3月16日（木）18：30～19：40

場所：Web会議（山形県庄内総合支庁講堂）

1 開会

2 あいさつ（庄内総合支庁 渡辺保健福祉環境部長）

3 議題

（1）在宅医療専門部会の検討状況について

- 事務局から資料1により説明
- 主な意見・質疑等
特になし

（2）県内における看取り加算等の状況について

- 事務局から資料2～3により説明
- 主な意見・質疑等
特になし

（3）令和3年度病床機能報告について

- 事務局から資料4により説明
- 主な意見・質疑等
特になし

（4）疾病・事業ごとの医療連携体制を構築する病院の表について

- 事務局から資料5により説明
- 主な意見・質疑等
特になし

（5）第7次山形県保健医療計画庄内地域編の進捗状況について

- 事務局から資料6により説明
- 主な意見・質疑等

【8次計画との関係について】

- ・ 令和5年度は第7次計画を進めながら同時に第8次計画の策定作業が始まる。第8次計画の策定に向け、現場の声が非常に大事になってくるので、個別に話を聞くことも必要。

(6) 地域医療構想の推進に係る意向調査の結果について

事務局から資料7により説明

○ 主な意見・質疑等

【地域医療構想の実現に向けた課題・連携のあり方について】

- ・ 看護師が減少しており、病床数の維持には看護体制の充実が必要。
- ・ 現状、地域の中核病院として、急性期病床数を減らすことは現実的ではないが、急性期治療を終えた後、患者の状態に応じ、各病院の機能に応じて連携することで、必要な、適切な病床数が見えてくる。
- ・ 北庄内はこの10～15年の間に急性期病床を大分減らしてきたが、今後、更に減らさざるを得ないのではないかと考えている。
- ・ 医師の高齢化、看護師不足で病棟を開けられないこともある。また、物価高もあり稼働率を上げてても経営は非常に厳しい。連携あるいは合併までは行かずとも、そのハイブリッドのような形で、人材の交流、やり取りができるような方法を模索していきたい。
- ・ 急性期から包括ケア病棟に入るような患者のパスを回していくことには全面的に協力したい。
- ・ 診療所でも、医師の高齢化等により閉院や病床の減が起きている。病院から看取りの患者を引き取る等の後方支援を担ってきた診療所の立場も厳しくなっている。
- ・ 高齢化が進むにつれて、急性期病院で介護も担うのではなく、地域で連携していくことが必要。病院がどんな役割を担っていきたいのか、どういった地域貢献をしていきたいのかを聞きながら、それぞれの力を活かした医療の体制を作っていくことが必要。

【公立病院経営強化プランの策定状況について】

- ・ 具体的にはこれからであるが、地域の資源を有効活用し、何とか乗り切れるよう案を練っているところ。
- ・ 医療者の確保に向け、看護学校の定数増により医療人材の育成を図り、特色ある病院づくりにより、興味のある方に病院に来てもらえるよう考えている。

4 その他

(1) 第8次医療計画の策定スケジュール等について

事務局から資料8により説明

○ 主な意見・質疑等

【第8次医療計画と第9期介護保険事業計画について】

- ・ 第8次医療計画と市町村の第9期介護保険事業計画は、齟齬のないよう擦り合わせながら策定作業を進める必要がある。

【以上、19：40終了】